一 身をすたる鷹の振舞の事そゝろに身の毛をたてゝ肉はありながら更に痩たる鷹のやうに見えて目の見えしことにすぐれたり

又悪鷹なれは俄にしづかにゐてこほすとろかし胴をそゑ頭をそらいさむ羽の毛をたつるや又身引ヲするに二の術あり身振いるにてする身引は俄おどろくがごとし

又悪鷹の流ゝくきぞひて後よまる身引は